

遺伝子定量のイノベーション

デジタルPCRセミナー

-Bio-Rad QX200™ Droplet Digital™ PCRシステム



リサーチコアセンター

BIO-RAD

実施日: 2018年 6月26日(火)

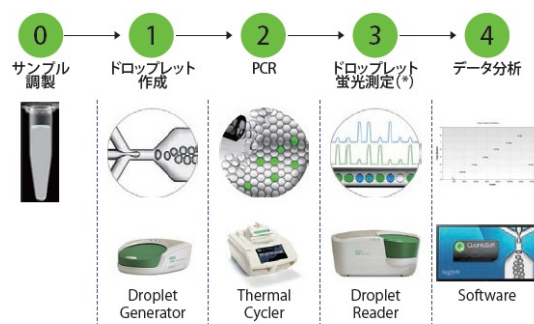
時間: 15:00~17:00

会場: 8号館南2階 大セミナー室

Absolute Quantification	High Precision	High Sensitivity	High Throughput
絶対定量	高精度	高感度	高処理性

近年、iPS細胞を用いた再生医療、創薬スクリーニング・安全性検証、分子細胞生物学的研究が盛んに行われていますが、こうした新しい研究を進める上では、従来法だけでは解決できない問題もあり、より高感度・高精度な研究技術・ブレークスルーが求められています。

従来、一般的な遺伝子解析・定量では、リアルタイムPCRが広く用いられてきましたが、近年、これを大幅に超える**高精度・高感度のデータ**を得ることのできる「**デジタルPCR**」技術が開発されました。



(*) TaqMan ケミストリーを使用

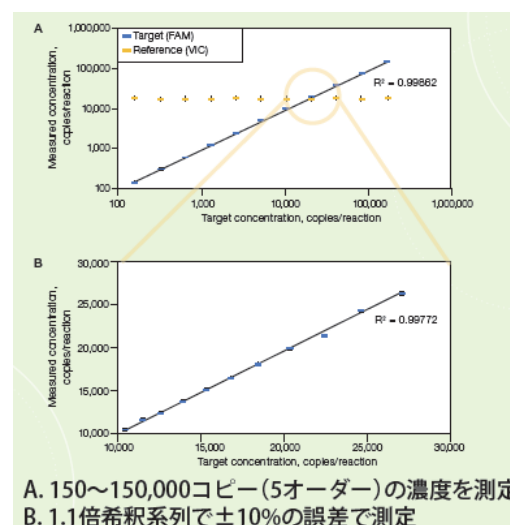
Bio-Rad QX200 Droplet Digital PCR (ddPCR) システムは、販売開始後4年以上が経過し、幅広い研究分野の数多くのお客様ご利用いただき、発現解析のみならず様々なアプリケーション実績が急速に蓄積されております。

そこで当セミナーでは、QX200 ddPCRに関しまして、

- (1) 基本的な原理
- (2) 論文実績
- (3) 再生医療・創薬・研究分野におけるアプリケーションおよびブレイクスルー例
- (4) その他分野での応用例

などについてご紹介いたします。

デジタルPCRについてご存じない方から、ご自身の最新研究への応用をご検討の方まで、幅広くご紹介させて頂く予定ですので、是非お気軽にご参加下さい。



A. 150~150,000コピー(5オーダー)の濃度を測定
B. 1.1倍希釈系列で±10%の誤差で測定

問い合わせ:
リサーチコアセンター
船戸紀子 (nfunato.gene@cmn.tmd.ac.jp)

皆様のご参加を心よりお待ちしております